

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期） 策定のための調査

ご協力のお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和5年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市内で介護予防・居宅介護サービスを提供する事業者及び施設サービス提供事業者にお願いをさせていただき、実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

府中市長 高野 律雄

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・調査基準日は、令和4年12月1日とします。（期日の指定のあるものを除く）
- ・法人全体ではなく、貴事業所について、ご記入をお願いいたします。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を（ ）内に指定していますので、ご注意ください。
- ・調査票、返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。
- ・調査票の回答に係る時間は、およそ25分です。
- ・本調査は、下記URL及び右に記載の2次元コードからご回答いただくことも可能です。

URL:



二次元コード



◇調査票のご回答について

調査票は、1月13日（金）までにご回答いただきますようお願いいたします。書面でご回答いただく場合は、同封の返信用封筒に入れ、ご返送くださいますようお願いいたします。（切手は不要です）

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

府中市福祉保健部高齢者支援課地域包括ケア推進係
電話（042）335—4537（直通）

貴事業所の概要についておたずねします

問1 貴事業所が府中市内で提供しているサービス（予防を含む）は次のうちどれですか。

(1) 封筒の宛名に記載されているサービス名の種別に○をつけてください。(1つに○)

- | | | |
|---------------------------|----------------------|----------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問看護 | 3. 訪問リハビリテーション |
| 4. 訪問入浴介護 | 5. 通所介護 | 6. 通所リハビリテーション |
| 7. 短期入所生活介護 | 8. 短期入所療養介護 | 9. 特定施設入居者生活介護 |
| 10. 福祉用具 | 11. 介護老人福祉施設 | 12. 介護老人保健施設 |
| 13. 夜間対応型訪問介護 | 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |
| 15. 看護小規模多機能型居宅介護 | 16. 小規模多機能型居宅介護 | |
| 16. 地域密着型通所介護 | 18. 認知症対応型通所介護 | |
| 19. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） | | |
| 20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | | |
| 21. 居宅介護支援事業所 | | |
| 22. その他（具体的に： _____) | | |

(2) 上記以外の介護保険サービスを提供していますか。(いくつでも○)

- | | | |
|---------------------------|----------------------|----------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問看護 | 3. 訪問リハビリテーション |
| 4. 訪問入浴介護 | 5. 通所介護 | 6. 通所リハビリテーション |
| 7. 短期入所生活介護 | 8. 短期入所療養介護 | 9. 特定施設入居者生活介護 |
| 10. 福祉用具 | 11. 介護老人福祉施設 | 12. 介護老人保健施設 |
| 13. 夜間対応型訪問介護 | 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |
| 15. 看護小規模多機能型居宅介護 | 16. 小規模多機能型居宅介護 | |
| 16. 地域密着型通所介護 | 18. 認知症対応型通所介護 | |
| 19. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） | | |
| 20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | | |
| 21. 居宅介護支援事業所 | | |
| 22. その他（具体的に： _____) | | |

(3) 介護保険以外のサービスを提供されていますか。(いくつでも○)

- | |
|----------------------|
| 1. 介護保険以外の高齢者福祉サービス |
| 2. 障害者総合支援法などのサービス |
| 3. 子育て支援などのサービス |
| 4. その他（具体的に： _____) |

事業運営についておたずねします

問2 貴事業所の昨年度の事業採算について、お差支えなければお答えください。(1つに○)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1. 黒字 | 2. 赤字 |
| 3. 損益なし | 4. その他(具体的に: _____) |

問3 貴事業所における職員の離職状況などについてお答えください。(1つに○)

(1) 昨年1年間(令和3年12月1日~令和4年11月30日)の職種(業務区分)別の離職状況

	1 離職者は いない	2 10%未 満	3 10%台	4 20%台	5 30%以 上	6 当該職種 いない
①ケアマネジャー (介護支援専門員)						
②生活相談員						
③看護師・准看護師						
④福祉施設介護職員						
⑤ホームヘルパー (訪問介護員)						
⑥理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士						
⑦機能訓練指導員						

(2) 把握している範囲で結構ですので、離職理由についてお答えください。(いくつでも○)

- | | | |
|----------------------|----------|------------------------|
| 1. 結婚 | 2. 出産・育児 | 3. 家族等の介護・看護 |
| 4. 労働時間・勤務体制が負担 | | 5. 収入が少ない |
| 6. 家族の転勤・転居 | | 7. 専門性や能力を十分に発揮・向上できない |
| 8. 将来のキャリアが見込めない | | 9. 新しい資格を取得した |
| 10. いろいろな職場の経験希望 | | 11. 起業・開業 |
| 12. 心身の不調、高齢 | | 13. 職場の人間関係に問題 |
| 14. 利用者・家族との関係に問題 | | 15. 法人・事業所の理念や運営に不満 |
| 16. 人員整理、勧奨退職、事業不振等 | | 17. ICTについていけない |
| 18. その他(具体的に: _____) | | |

(3) 離職者が出ないようにしている工夫について、お答えください。(いくつでも○)

1. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を考慮
2. 時間外労働時間の削減
3. 年次有給休暇等の取得促進
4. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）
5. 感染症予防対策
6. 職員間における、いじめやハラスメント等への体制整備
7. メンタルヘルス対策
8. 育児・介護等の休暇制度の活用奨励
9. 子育て支援（託児所を設ける、保育費用の助成など）や介護支援
10. 多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など）の導入
11. 新人の指導担当・アドバイザーの配置（メンター制度など）
12. キャリアパスの作成と実施
13. 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映
14. キャリアに応じた給与体系の整備
15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくり
16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり
17. 福利厚生充実
18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化
19. その他（具体的に： _____)
20. 特に行っていない

問4 貴事業所では、職員の処遇改善を行ううえで、どのような課題があると考えていますか。
(いくつでも○)

1. 事業の安定経営が最優先で、職員の処遇改善にまで至らない
2. 職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない
3. この間の制度改正や介護報酬改正を踏まえると、給与体系まで手が回らない
4. その他（具体的に： _____)
5. 特にない

サービス提供における課題をおたずねします

問5 サービス提供で困難だったケースがありましたか。(1つに○)

1. ある(あった) (→問5-1に進む) 2. ない (→問6へ進む)

問5で「1. ある(あった)」とお答えの事業所におたずねします

問5-1 それはどのようなケースですか。(いくつでも○)

1. ひとり暮らしで親族と連絡がとりにくいケース
2. 認知症の症状が進行し急変する方のケース
3. 病識がなくサービスの拒否があるケース
4. 胃ろうなどの医療処置を受けているケース
5. 個別サービス計画の内容について本人と家族からの理解が得られないケース
6. 個別サービス計画の内容について本人と家族の意見が合わないケース
7. 必要なサービスが不足していてサービスが受けられないケース
8. 家族に障害や精神疾患があるケース
9. 老老介護、認認介護などの世帯のケース
10. 虐待を受けている、又はその疑いのあるケース
11. 消費者被害や詐欺被害を受けている又はその疑いのあるケース
12. 飲酒や喫煙など生活面で問題があるケース
13. 経済に困窮し生活支援が必要なケース
14. 住宅に困窮し生活支援が必要なケース
15. 利用料滞納者のケース
16. 施設や病院から退所・退院したばかりのケース
17. ターミナルケアを受けているケース
18. その他(具体的に: _____)

問5-2 前記のケース対応にあたり、必要な行政支援としてどのようなことが考えられますか。
具体的にお書きください。

問6 貴事業所では介護予防・日常生活支援総合事業(以下「総合事業」)のサービスを提供していますか。(1つに○)

- 1 訪問型 (→問6-2に進む) 2. 通所型 (→問6-2に進む)
3. 提供していない (→問6-1に進む)

問6で「3. 提供していない」とお答えの事業所におたずねします

問6-1 総合事業のサービスを提供しない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 職員の人数不足 | 2. 報酬額の低さ |
| 3. 訪問・通所事業を提供していないから | 4. 総合事業の制度がよく分からないから |
| 5. 指定申請に係る手続きの煩雑さ | |
| 6. 現状で受入可能人数一杯までの利用者がいるため | |
| 7. その他(具体的に:) | |
| 8. 特にない | |

問6で「1」又は「2」(提供している)とお答えの事業所におたずねします

問6-2 総合事業のサービスを提供していくうえで、どのような課題がありますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 職員の人数不足 | 2. 職員の技術不足 |
| 3. サービス卒業につなげること | 4. 利用者宅までの移動や送迎 |
| 5. 特定の日時・曜日等への利用希望者の集中 | |
| 6. 総合事業の制度理解 | 7. サービスコードが複雑 |
| 8. 報酬額の低さ | |
| 9. その他(具体的に:) | |
| 10. 特にない | |

問7 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス、また、ケアプランに組み入れにくいサービス、今後必要性がより高まると思われるサービスはありますか。(それぞれ3つまで下の1~25より選んで番号を記入)

(1) 量的に不足しているサービス			
(2) ケアプランに組み入れにくいサービス			
(3) 今後必要性がより高まると思われるサービス			

- | | | |
|--------------------------|------------------|----------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問看護 | 3. 訪問リハビリテーション |
| 4. 訪問入浴介護 | 5. 居宅療養管理指導 | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 短期入所生活介護 | 9. 短期入所療養介護 |
| 10. 特定施設入居者生活介護 | 11. 福祉用具の貸与 | |
| 12. 特定福祉用具購入 | 13. 住宅改修費の支給 | |
| 14. 介護老人福祉施設 | 15. 介護老人保健施設 | |
| 16. 介護医療院(介護療養型医療施設) | 17. 夜間対応型訪問介護 | |
| 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 19. 小規模多機能型居宅介護 | |
| 20. 看護小規模多機能型居宅介護 | 21. 地域密着型通所介護 | |
| 22. 認知症対応型通所介護 | 23. 認知症対応型共同生活介護 | |
| 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 25. 特にない | |

サービスの質の向上と人材確保に向けた取組をおたずねします

問8 貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 第三者評価の実施 | 2. 専門家、コンサルタントの活用 |
| 3. ISO等品質管理に対する認証取得 | 4. 苦情事例等の活用・蓄積 |
| 5. 事業所内での検討会 | 6. 内部研修の充実 |
| 7. OJTの充実 | 8. 手引書の作成や見直し |
| 9. 外部研修会への出席 | 10. 人材の確保 |
| 11. スタッフの資格取得への支援 | 12. 事業者間の交流 |
| 13. サービス事業者の連絡会等への出席 | 14. 利用者調査の実施 |
| 15. 介護情報の公表 | 16. その他(具体的に: _____) |

問9 貴事業所における現在の職員の過不足についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1 大変不足している | 2 不足している |
| 3 適当である | 4 過剰である |
| 5 大変過剰である | |

問10 貴事業所において、特に人材確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. ケアマネジャー(介護支援専門員) | 2. 介護福祉士 |
| 3. ホームヘルパー(訪問介護員) | 4. 介護職(資格なし) |
| 5. 社会福祉士 | 6. 医師 |
| 7. 看護師・准看護師 | 8. 保健師 |
| 9. 薬剤師 | 10. 理学療法士 |
| 11. 作業療法士 | 12. 言語聴覚士 |
| 13. 機能訓練指導員 | 14. 管理栄養士・栄養士 |
| 15. 音楽療法士 | 16. あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師 |
| 17. 事務職 | 18. その他(具体的に: _____) |
| 19. 特にない | |

問11 人材を確保するためにどのような取組を行っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 2. 中途採用枠の拡大 |
| 3. 就業時間の見直し | 4. 福利厚生への充実 |
| 5. 賃金面の充実 | 6. 研修会への参加支援 |
| 7. 資格取得の支援 | 8. 苦情・相談体制の充実 |
| 9. 職員間の助け合い制度(具体的に: _____) | |
| 10. 同事業所内で人員確保 | 11. 社外の協力体制の整備 |
| 12. 求人広告掲載 | |
| 13. その他(具体的に: _____) | |

問 12 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、様々な支援策がありますが、有効と考えられるものは何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 人材育成や研修の専門家の派遣 | 2. 離職率改善事例の紹介 |
| 3. 離職した介護従事者などの潜在的有資格者が職場復帰した事例の紹介 | |
| 4. 福利厚生の実施支援 | 5. 研修時の代替職員確保の支援 |
| 6. 処遇改善のための助成 | 7. 退職金や企業年金など各種諸手当の助成 |
| 8. 介護職員のための住宅確保・助成 | |
| 9. メンタルヘルスや雇用環境に関する相談窓口の設置 | |
| 10. ICT等の活用支援(業務の効率化、利用者情報の共有、医療連携、介護連携など) | |
| 11. 介護ロボットの活用支援 | |
| 12. 資格を必要としない生活支援の担い手(市民)の育成 | |
| 13. 外国人労働者の登用 | 14. 資格取得助成金 |
| 15. その他(具体的に:) | |

問 13 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 人材育成のための時間がない | 2. 人材育成のための費用に余裕がない |
| 3. 職員の自己啓発への意欲が低い | 4. 事業所内における人材育成の優先順位が低い |
| 5. 指導できる人材が少ない、又は、いない | 6. 採用時期が別々で効率的な育成ができない |
| 7. 育成してもすぐに辞めてしまう | 8. 研修を受講させる人的な余裕がない |
| 9. その他(具体的に:) | |
| 10. 特になし | |

問 14 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 十分実施できている | 2. 十分ではないが実施できている |
| 3. ほとんど実施できていない(理由:) | |
| 4. その他(具体的に:) | |

問 15 外部の研修や事例検討、勉強会について、非常勤を含む職員が積極的に参加できるよう支援していますか。支援していない場合は、その理由を具体的にお書きください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 支援している | 2. 十分ではないが支援している |
| 3. ほとんど支援していない(理由:) | |
| 4. 支援したいができない(理由:) | |
| 5. その他(具体的に:) | |

問 16 貴事業所の職員に受けさせたいと思われる研修はどのようなことがありますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 基本的介護技術に関する研修 | 2. 口腔機能に関する研修 |
| 3. 喀痰吸引等に関する研修 | 4. 緊急時対応・事故対策に関する研修 |
| 5. 認知症ケア・認知症対策に関する研修 | 6. 感染症対策に関する研修 |
| 7. 高齢者虐待防止・身体拘束廃止に関する研修 | |
| 8. リハビリテーション（運動機能向上・維持など）に関する研修 | |
| 9. 介護予防に関する研修 | 10. ケアプラン等に関する研修 |
| 11. 介護従事者の腰痛予防に関する研修 | 12. ストレスマネジメントに関する研修 |
| 13. 介護員養成研修（介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修） | |
| 14. 事業所や地域のネットワークに関する研修 | |
| 15. 個人情報・プライバシーに関する研修 | 16. 介護保険制度に関する研修 |
| 17. 介護報酬・指定基準に関する研修 | 18. 終末期に関する研修 |
| 19. その他（具体的に： _____） | |
| 20. 特にない | |

問 17 貴事業所では福祉サービス第三者評価※を受審したことがありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|------------------|---------|
| 1. ある | 2. ない（→問17-1に進む） | 3. 知らない |
|-------|------------------|---------|

《問17で「2. ない」とお答えの事業所におたずねします》

問 17-1 受審をしたことがないのはなぜですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 受審費用が負担であるため | 2. 受審にあたっての職員の負担が大きい |
| 3. 評価基準・評価項目に疑問があるため | 4. 評価結果の活用方法が分からない |
| 5. 受審の意義が分からないため | |
| 6. その他（具体的に： _____） | |

認知症患者のサービス利用についておたずねします

問 18 認知症の利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも○、最も大変なことに◎)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1. 本人や家族が医療機関を受診しない | 2. 本人の意思の確認がとれない |
| 3. 家族が認知症であることを認めない | |
| 4. 薬の飲み間違いがあって、服薬管理ができない | |
| 5. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる | |
| 6. 認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される | |
| 7. 消費者被害に遭遇している | 8. 虐待を受けている |
| 9. 本人や家族間で介護の方針が食い違う | 10. 身体疾患があり医療的な管理が難しい |
| 11. その他（具体的に： _____） | |

問 19 貴事業所では、認知症患者の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. とれている | 2. まあまあとれている | 3. あまりとれていない |
| 4. とれていない | 5. どちらともいえない | |

問 20 今後、認知症患者の支援にあたり、必要になることは次のどれですか。(3つまでに○)

- | |
|---|
| 1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること |
| 2. 認知症の人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと |
| 3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと |
| 4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること |
| 5. かかりつけ医やケアマネジャー（介護支援専門員）の認知症に対する理解と対応力が向上すること |
| 6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと |
| 7. 専門機関同士の連携が進むこと |
| 8. 認知症初期集中支援チームなどがつくられ早期からアセスメントや支援が行われること |
| 9. 認知症の人やその家族に対する支援が充実していくこと |
| 10. その他（具体的に： _____) |

医療と介護の連携の状況についておたずねします

問 21 市内の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 十分連携していると思う |
| 2. ある程度連携していると思う |
| 3. 連携が不十分であると思う（→問21-1に進む） |
| 4. ほとんど連携していないと思う（→問21-1に進む） |
| 5. どちらともいえない |

《問 21 で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします》

問 21-1 そのように思う理由は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない |
| 2. お互いに多忙で連絡がとれない |
| 3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない |
| 4. 交流の場がない |
| 5. 誰と連絡をとればよいのか分からない |
| 6. 医学知識や医療制度が分からない |
| 7. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している |
| 8. その他（具体的に： _____) |

問 22 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)

1. 電話	2. FAX	3. メール
4. 診察への同行	5. 訪問診療への同席	6. サービス担当者会議
7. 直接訪問	8. オンライン	
9. その他(具体的に: _____)		

問 23 貴事業所(貴機関)では、MCS(メディカル ケア ステーション)を活用していますか。(1つに○)

1. 現在活用している	2. 現在活用していないが、必要があれば活用できる
3. 活用していない(→問 23-1 に進む)	4. わからない

《問 32 で「3. 活用していない」とお答えの事業所におたずねします》

問 23-1 その理由は何ですか。(1つに○)

1. 法人(事業所)の方針	2. 必要性を感じていない
3. その他(具体的に: _____)	

問 24 貴事業所のサービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。(ア～ケそれぞれ1つに○)

	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない
ア. 病院				
イ. 利用者のかかりつけ医				
ウ. 訪問看護師				
エ. 歯科医師				
オ. 薬剤師				
カ. 病院の地域連携室(医療ソーシャルワーカー)				
キ. 地域包括支援センター				
ク. ケアマネジャー(介護支援専門員)				

問 25 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職は何ですか。(2つまでに○)

1. 病院	2. 利用者のかかりつけ医
3. 訪問看護師	4. 歯科医師
5. 薬剤師	6. 病院の地域連携室(医療ソーシャルワーカー)
7. その他(具体的に: _____)	

問 26 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。
 (3つまでに○)

1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ
2. 医師・歯科医師がケアマネジャー（介護支援専門員）の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する
3. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する
4. 医療と介護の連携マニュアルを作成する
5. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する
6. 医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する
7. 関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する
8. 医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う
9. その他（具体的に： _____ ）

問 27 貴事業所では、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問 28 貴事業所では、医療機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

病院 (地域連携室)	
診療所	
歯科診療所	
薬局	
訪問看護ステーション	

共生型サービスについておたずねします

問 29 介護保険法では、高齢者や障害のある人がともに利用できる「共生型サービス」が新設されましたが、貴事業所では共生型サービスの提供についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 提供する準備をしている | 2. 提供について検討したい |
| 3. 特に考えていない | |

問 29 で「1」又は「2」とお答えの事業所におたずねします

問 29-1 準備又は検討している共生型サービスの種類は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 訪問介護 | 2. 通所介護 |
| 3. 短期入所 | |

問 29-2 共生型サービスを提供するにあたって、課題等があれば、ご自由にお書きください。

災害時等の体制についておたずねします

問 30 災害弱者に対する対策が重要となっておりますが、貴法人では、災害時のマニュアルを作成していますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1. 法人全体で共通のものを作成している | 2. 部門ごとに作成している |
| 3. 作成している部門もあるが、作成していない部門もある | |
| 4. その他(具体的に: _____) | |
| 5. 作成していない | |

《問 30 で「1」～「4」とお答えの事業所におたずねします》

問 30-1 マニュアルに次の内容は含まれていますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 利用者の安否確認の方法 | 2. 職員の安否確認方法 |
| 3. 飲料水や食料、備蓄に関する事 | 4. 医療機関や他事業所との連絡に関する事 |
| 5. 地域住民の受入など地域との連携に関する事 | |
| 6. 定期的なマニュアルの見直しに関する事項 | |

問 31 貴事業所では、BCP(災害時の事業継続計画)を策定していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 策定している | 2. 策定していないが、今後策定する予定がある |
| 3. 策定しておらず、今後も策定する予定はない | |

問 32 貴事業所では地震等の災害が発生したときの避難訓練や安否確認の訓練を実施していますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 実施している | 2. 実施していない |
|-----------|------------|

問 33 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1. 自治会・町会等と防災協定を結んでいる |
| 2. 自治会・町会等と合同で避難訓練を行っている |
| 3. 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している |
| 4. 地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている |
| 5. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている |
| 6. 事業所の利用者だけでなく、地域のためにも備蓄をしている |
| 7. 関係する事業者との連絡体制を構築している |
| 8. その他(具体的に：) |

問 34 災害発生時における貴事業所が抱える課題などについてお書きください。
(例：サービス利用者の安否確認が事業所間で共有できない など)

感染症対策についておたずねします

問 35 感染症防止のために貴事業所が取り組んでいることは何ですか。(いくつでも○)
(○の場合には()内に必要な文言をご記入ください)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 職員の毎日の健康チェック | 2. 定期的な検査の実施(PCR検査、抗原検査) |
| 3. 利用者の健康状態の把握 | 4. 定期的な換気(頻度： /時間・日) |
| 5. 感染症対策マニュアルの整備、見直し及び活用 | |
| 6. 手指衛生(手洗い、手指消毒)の実施(頻度：出退勤時、ケア実施の都度、全ケア実施後、その他()) | |
| 7. 人が良く触れる箇所の消毒の実施(頻度： /日・週・月) | |
| 8. 防護服の着用(場面：密着ケア時、ケアをする時、常時着用、その他()) | |
| 9. 防護服着脱訓練、手洗い講習などの職員向けの研修会の開催(頻度： /週・月・年)
(具体的な内容：) | |
| 10. その他実施している感染症防止対策(利用者へのマスク着用のお願い、黙食、利用者同士の
間隔を空ける、歌等大声を出すプログラムの見直し、その他()) | |

地域との関わりについておたずねします

問 36 貴事業所では、以下のような地域の各団体や組織との関わりはありますか。(いくつでも○)

- | | | |
|------------------|-----------------|------------|
| 1. 民生委員 | 2. 自治会・町会等 | 3. 保育園・幼稚園 |
| 4. 小中学校、高校 | 5. シニアクラブ | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 商店街・商店 | 8. ボランティア・NPO団体 | |
| 9. マンション・団地の管理組合 | | |
| 10. その他(具体的に：) | | 11. 特にない |

問 36 で「1」～「10」とお答えの事業所におたずねします

問 36-1 どのような関わりがありますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有 |
| 2. 地域のまつりへの参加 |
| 3. 事業所で行う催しへの招待 |
| 4. 事業所内の機能の開放(会議室など) |
| 5. 事業所と地域の各団体、組織がお互いの避難訓練に参加するなど、防災時対応への協力 |
| 6. 事業所のサービスにおけるボランティア活動 |
| 7. その他(具体的に：) |

問 37 貴事業所では、地域包括支援センターが実施する地域ケア会議(地域支援連絡会)に参加したことはありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. ある(→問 37-1 に進む) | 2. ない |
|--------------------|-------|

《問 37 で「1. ある」とお答えの事業所におたずねします》

問 37-1 地域ケア会議、地域支援連絡会を活発にするために必要と思われることは何ですか。(2つまでに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 地域ケア会議を理解するための研修 |
| 2. 地域関係者等との連携の機会づくり |
| 3. 提出事例の様式の整備 |
| 4. 会議の運営の工夫 |
| 5. その他(具体的に：) |
| 6. 特にない |

新型コロナウイルスの影響についておたずねします

問 38 貴事業所では、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応して、休業を行いましたか。(1つに○)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 行った | 2. 行っていない |
|--------|-----------|

